

グローバル GLOBAL G.A.P取得へ

当JAでは、平成30年4月から米とりんごでGLOBAL G.A.P (以下グローバルGAP)の団体認証取得に取り組み、2品目同時に取得することができました。団体認証で2品目同時取得は当JAが初めてとなります。今回は、グローバルGAPについて特集します。



STEP 1 聞き取り調査
生産者から農業生産や経営状況などを丁寧に聞き取ります。



STEP 2 農業の現場を確認
生産者とGAPのチェック項目と照らし合わせながら、作業場や現場など農業現場を確認します。適正な工程で農業生産できているかを確認し、問題点はその場で指摘します。



STEP 3 現場の問題点などを検討
農業現場を確認後、生産者とGAP担当者が問題点などを確認し、解決策を考えます。膨大なチェック項目すべて満たされるまで検討します。



STEP 4 内部検査を実施
問題点の対策ができているかを見るため、生産者と農業現場を確認します。



STEP 5 GAP指導関係者の研修会
当JAの場合は、団体認証での取得で、団体（JA）が各農家の管理状況を管理する必要があるため、研修会で営農指導員を中心にグローバルGAPの知識向上を図っています。



STEP 6 GAPの審査
出荷時のJA施設内もGAPの対象です。グローバルGAP審査担当者が隅々まで確認します。



STEP 7 グローバルGAP取得へ
生産者一人一人がチェック項目をすべて満たすことで、取得となりました。

■グローバルGAPとは？

G.A.P(ギャップ)とは、**GOOD**(適正な)、**AGRICULTURAL**(農業の)、**PRACTICES**(実践)の略で、**農業生産工程管理**のことです。**グローバルGAP認証**とは、農業生産工程管理を証明する**国際基準の仕組み**です。世界120ヶ国以上に普及し、事実上の国際基準となっています。欧米の大手小売をはじめ、最近では日本の小売でもグローバルGAPなどの国際認証を取得した生産者から仕入れを優先しています。グローバルGAP認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する世界共通ブランド。取引先の信頼向上と企業価値向上に貢献します。グローバルGAPの認証には**個別認証**と**団体認証(第三者認証)**と大きく2つの枠組みがあります。**当JAでは団体認証を取得しました。**団体認証とは、団体に属するそれぞれの農家の単位で認証するのではなく、**各農家の管理状況を団体がきちんと管理できているかを認証する仕組み**です。

■実践によるメリットは？

農業生産者が、安全で持続可能な農業を実践し地域経済に貢献するための羅針盤として、またトレーサビリティ担保による取引先や消費者の信頼性、透明性確保の手段として活用されます。産地として、**販路拡大**(海外への輸出、海外へインバウンド対応)、**経営改善**(生産工程の明確化で生産性の向上、資材コストの削減)、**教育効果**(新人・外国人労働者への効果的トレーニング、意識向上)、**リスク管理**(生産者としての責務、緊急時のリコール体制確立)のメリットが期待できます。

■管理する事項は？

米(コンバイン作物)の認証における管理点は209、りんご(青果物)認証における管理点は218です。食品安全、トレーサビリティ、品質管理、労働安全と健康、土壌の管理、施肥の管理、総合的病害管理、農薬の管理、水の管理とチェック項目がバランスよく配分されています。

■グローバルGAPは本当に必要？

- ・**国産は安全だから必要ない？** →いくら本人が説明しても受け入れられません。他の産業含め、すでに世界は安全への取り組みを第三者(認証機関などの第三者からの認証。社会的な信頼獲得、第三者視線での問題発見、継続的改善を実現)で証明する時代です。
- ・**GAPで高く売れるのか？** →安全だから高く買う文化でない限り、売価に結びつくものではありません。取引先・消費者からの信頼性確保・優先的取引に結びつくものです。
- ・**GAPで作物品質を証明できるのか？** →GAP認証は企業の生産活動を認証する仕組みで、作物品質を証明する以前のベース認証として必要になります。
- ・**チェックリストを実施すれば良い？** →チェックリストは手段で、要求事項の本質を理解しなければ取り組む意義も半減してしまいます。なぜその要求事項が国際基準として必要なのか、全員が理解し説明できるようになるための企業内研修プログラムとして、グローバルGAPは役立ちます。

禁止事項などを掲示

グローバルGAPで管理した作業場は、安全に作業できる環境となります。



手洗い場を併設した作業場



整理された農薬庫



肥料置き場も分りやすくすっきり



グローバルGAPを取得したからといって終わりではありません。これから継続した取り組みが必要となります。

参照：GAP普及推進機構 / GLOBALGAP協議会HP <https://www.ggap.jp/>